

様式第8号（第6条関係）



令和4年3月31日

薩摩川内市議会

議長 川添 公貴 様

（会派代表者経由）

会派の名称 新創会

経理責任者氏名 屋久 弘文



政務活動費に係る収支報告書

薩摩川内市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、次のとおり、令和3年度の政務活動費に係る収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 540,000円

2 支出

（単位：円）

科 目	金 額	備 考
調査研究費	84,033円	8/4～5 甑島
研修費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
人件費		
事務費	74,023円	コピー用紙、プリンタインクカートリッジ
合計	158,056円	

3 残余の額

381,944円

注1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

2 領収書、活動報告書その他必要な書類を添付すること。

3 会派に属さない議員の場合は、「会派代表者経由」の必要はないこと。

4 会派に属さない議員の場合は、「会派の名称」は記入しないこと。

5 会派に属さない議員の場合は、「経理責任者氏名」とあるのは「議員の氏名」と読み替えること。

令和4年3月31日

薩摩川内市議会  
議長 川添 公貴 様

会派の名称 新創会  
代表者名 屋久 弘文



活動報告書

1 調査研究事業

(1) 調査年月日

令和3年8月4日（水）～5日（木） 1泊2日

(2) 調査参加者

成川 幸太郎、屋久 弘文、犬井 美香

(3) 調査先及び調査項目

調査先 薩摩川内市里町、上甑町、下甑町

- ・長浜地区コミュニティ協議会（意見交換）
- ・里地区コミュニティ協議会（意見交換）
- ・甑島蓄電センター見学
- ・下甑手打診療所（意見交換）
- ・あさり養殖場見学【株式会社シェルフイッシュユ甑】
- ・甑海洋深層水工場見学【こしき海洋深層水株式会社】
- ・甑島西側地区（子岳・西山・内川内）の現状視察

調査項目

- ・甑島地域一体化方針に係る地元の要望等の把握（地区の現状と課題）
- ・甑島地域の産業の現状把握
- ・昨年の災害箇所への復旧状況や今回の大雨の被害状況の把握
- ・その他、市政・市議会に対する意見・要望等の把握

(4) 調査の概要

別添報告書のとおり

2 研修事業

3 広報事業

4 広聴事業

5 要請・陳情活動事業

6 その他活動

# 政務調査報告書



令和3年8月12日

薩摩川内市議会  
議長 川添 公貴 様

会派名 新創会  
代表者名 成川 幸太郎

**政務活動費による政務調査を実施したので、次のとおり報告します。**

- 1 政務調査年月日  
令和3年8月4日（水）～5日（木） 1泊2日
- 2 政務調査の参加者  
成川 幸太郎 屋久 弘文 犬井 美香
- 3 政務調査先・・別添「行程表」のとおり
  - (1) 長浜地区コミュニティ協議会（意見交換）
  - (2) 里地区コミュニティ協議会（意見交換）
  - (3) 甕島蓄電センター見学
  - (4) 下甕手打診療所（意見交換）
  - (5) あさり養殖場見学【(株)シエルフィッシュ甕】
  - (6) 甕海洋深層水工場見学【こしき海洋深層水(株)】
  - (7) 甕島西側地区（子岳・西山・内川内）の現状視察
- 4 政務調査の目的
  - (1) 甕島地域一体化方針に係る地元の要望等の把握（地区の現状と課題）
  - (2) 甕島地域の産業の現状把握
  - (3) 昨年の災害箇所の復旧状況や今回の大雨の被害状況の把握
  - (4) その他、市政・市議会に対する意見・要望等の把握

## 5 政務調査の概要

### (1) 長浜地区コミュニティ協議会との意見交換（中川徹志会長以下6名）

- ・長浜地区コミュニティセンターの新設・移転  
昭和48年建築で老朽化が激しいうえに、駐車場もなく道路も狭い。地域住民に不便をかけているため、是非とも新設してほしい。（エレベーター設置についても、新設を見据え断った経緯がある。）
- ・甑島地域の支所再編に当たっては、下甑支所の職員数が10名となるが、災害時の対応を心配している。（台風時には、甑大橋も通行止となり、振興局から職員を派遣できないと思う。）・・・自治会単位で自主防災組織はあるが、訓練等実施していないため、機能するかも心配である。
- ・観光面では入込客も多く、土産など地元にもそれなりの収益があるが、観光客が増えれば路上駐車している現状もあり、道路拡幅が必要になってくる。特に芦浜～長浜の間。
- ・昨年度の災害は市道・林道の崩壊が主であったが、ほぼ復旧している。今回は被害はなかった。
- ・地縁団体が所有権移転登記をする際の地域政策課からの補助制度を拡充してほしい。（長浜の区有地が300筆あり、司法書士費用（登録免許税も）がかなり掛かる。）



### (2) 里地区コミュニティ協議会との意見交換（平嶺休丸会長以下9名）

- ・甑島の玄関口であり、安心安全で暮らせている様子を見てもらいたい。
- ・7月7日の甑島振興局に係る地元説明会で、里・鹿島については、職員1人・会計年度任用職員1人を配置するとの説明があったが、鹿島と比較して人口は3倍であり、人口やそれに伴う仕事を参酌した職員配置をすべきではないか。
- ・住民サービスセンターでできる業務の範囲を具体的に示してほしい。
- ・市の浦海水浴場を地元企業に譲渡しているが、今年も開場していない。市が取り戻して、以前のように開場することはできないのか。⇒また、観光客のニーズも広がっている。時代のニーズに合った施設整備等（オートキャンプ場・風呂など）が必要である。

- ・診療所の再編に当たっては、青瀬地区などを参考に、住民の足の確保を最優先に考えてほしい。また、再編時までには、しっかりとした方向性も示してほしい。

#### 【火災・風水害等への対応】

- ・サービスセンターの職員も災害時・選挙時など不安だと思う。
- ・消防団の支所部（10人程度）が編成できなくなる。
- ・常備消防は救急のみで、消火活動はしない。消防職員・防災サポーターを増やすとか、その辺りを具体的に協議する場がないので、早急にセッティングしてほしい。
- ・自治会毎に自主防災組織があるが、訓練をしていたりそうでなかったりで、有事時に機能するか心配である。
- ・振興局から災害時にサービスセンターへ配置する職員数とその職員の担任業務を明確にしてほしい。⇒管内の急傾斜地近辺住民への確認・連絡などもできない。
- ・支所内を熟知している職員の配置がなければ、もっと不安である。（水道・水源地など地域性のあるものへの対応）
- ・地域防災連絡調整会議は役員だけでなく、地域住民も対象としてほしい。



### (3) 甌島蓄電センター見学

甌島内に施設を案内できる職員がいなかったため、現地に赴き、産業戦略課から提供のあった資料を基に施設の外観を見て回った。

1点だけ誤解していたことは、隣接の太陽光発電所で発電した電力を、そのまま蓄電センターで蓄電するのではなく、発電分は九州電力に売電（災害時には、避難所となる隣接の体育館に供給）し、蓄電用の電力は九州電力から別途供給されるとのことで、同一敷地内であるにも関わらず、系統が切り離されている点である。



(4) 下甌手打診療所での意見交換（齋藤所長）

診療所運営の現状と課題等について、齋藤所長（医師）と意見交換を行った。出された意見・要望等は、概略次のとおり。

【詳細は、別途市に報告済】

- ・ 将来を見据えた診療所の体制づくりを目指してきた。
- ・ 診療所再編に係る協議の場を早く設定してほしい。
- ・ 医療の質の前に、医療従事者の確保が先である。（職種編成も考える時期にきている。）
- ・ 島内の医療の仕組みに希望が持てるようにしてほしい。時には変化も必要。
- ・ 診療所の男女共用トイレを、分けたトイレにしてほしい。

(5) あさり養殖場【㈱ガイアテックの子会社である「㈱シェルフィッシュ甌」】

甌島地域の産業と言える「あさり養殖場」を視察した。隣接地で製造している甌海洋深層水を利用し、「砂ゼロあさり」の完全陸上養殖を目指し、日夜奮闘されている様子が伺われた。生息適地の減少や病気の発生などであさり漁獲量が年々減少し、このままでは国産あさりの枯渇が懸念されることから、全国各所で様々な企業があさり養殖に取り組んでいるようだが、卵から手掛けている企業は稀なようである。

今後は、餌となるプランクトン培養の研究や成長に適した海域の選定などを進め、成貝まで成長する割合を高めながら、産業（稚貝・成貝販売）として成立するように日々研究を重ねていくとのこと。甌島を代表する産業へ成長し、地域漁業の振興や雇用の創出などに繋がり、ひいては地域振興・活性化に寄与することを期待したい。

#### (7) 甌島西側地区（子岳・西山・内川内）の現状視察

甌島の東側地区は幹線道路も縦断しており、ある程度の状況は、来島した殆どの方が把握できているが、西側地区は、中々訪れる機会もないため、特段の目的があったわけではないが、視察箇所に取り入れてみた。

それぞれの地区を見て回ったが、町並みや日々の営みが何となく伝わってきた。また、東側地区との格差（買い物・医療・地域交通など）も実感することができた。



#### 6 政務調査に係る所感

合併後17年が経過しようとしているが、この間、市域の一体感の醸成を掲げ、市域の均衡ある発展を目指して諸施策が展開されてきた。甌島地域だけに言えることでもないが、甌島地域内にあっても、少子高齢化・過疎化等を原因とした地区間の様々な格差があることを改めて実感したが、この格差を少しずつでも埋めていくことが重要だと考える。（特に、内川内地区）

島内の産業については、フルーツ園・あさり養殖場・甌海洋深層水工場などを見学したが、まだ道半ばという感じがした。昨今、市の重点的な施策展開もあり、従来の主産業である漁業のほかに、観光に重きが置かれ、地域住民の理解・協力を得ながら、「観光産業」として根付きつつあることを実感できた。（今は、コロナ禍の影響を少なからず受けているが・・・）

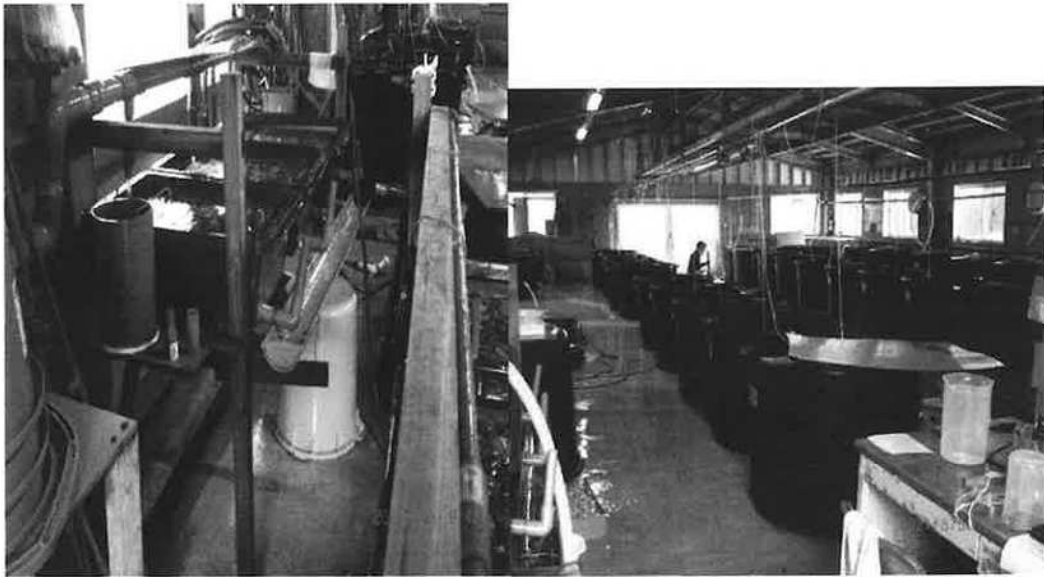
2地区コミュニティ協議会を訪問し意見交換も行ったが、「政務調査の概要」にも記載のとおり、地区独自の要望も様々あるが、全体を通して、今年10月予定の甌島地域の支所再編や今後さらに推進されるであろう「甌島地域一体化方針」に基づいた施策・事業の展開に大きな不安と関心を持っておられた。

特に、災害対策（防災）については、地球温暖化により全国的に頻発する想定外の災害などを受けて意識も高く、それ故に、不安・不満にも繋がっているのだろうと思った。

全てを言い尽くせないが、今回の政務調査で甌島地域の住民から様々な意見・要望を徴することができた。このことを今後の市政に反映し、市民の側に立った、市民に身近な議会活動を展開していきたいと考える。

また、「甌大橋」の開通を転機として、更なる「甌はひとつ」の実現に向けて、議員の立場で微力ながら支えることができたらと考える。





- (6) 甌海洋深層水工場 【南国殖産㈱の子会社である「こしき海洋深層水㈱」  
沖合4km・水深375mから取水した海洋深層水(2200年前の水)  
を活用し、基本的には原水から塩分を取り除き、様々に商品化している。  
製造過程・各施設を見学したが、海洋深層水を脱塩或いはミキシングする  
ことで、硬度の異なる水、保存水、塩、にがり、石鹼などの製造に結び付けて  
いた。  
甌島地域での特色ある成長産業として、更に発展することを期待したい。



調査研究費

領 収 証

市議会 新創会 様 R3年 8月 3日

★ 10,000-

但 菓子代 (紅豆餡 @2000×5ヶ) \*減額控除分  
上記正に領収いたしました 10000円×1/4 = 2500円

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

鹿児島県薩摩川内市向田本町9番10号  
株式会社フランス・川畑  
代表取締役 川畑 善 郎

コクヨ ウケ-1048

領 収 書

令和3年8月4日

新創会 様

¥10,320-

印 紙

但 高速船船賃 117 (2840円×3人)  
上記正に領収いたしました

鹿児島県いちき串木野市西薩町12番地  
九州海運株式会社  
TEL 0996-32-2161

※保管上のお願  
印刷面を内側に折って保管願います。

領 収 証

新創会

様 No. \_\_\_\_\_

★ ¥ 20,000-

但 レンタカー代 15000 (20000円×1/4) \*減額控除分  
R3年 8月 4日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

〒896-1411 薩摩川内市下飯町長浜913番地4

飯島レンタカー○△□

代表 迫田 秀 憲

TEL 09969-5-0606 FAX 09969-6-5757

調査研究費

請求・領収書

No. 21888

ご芳名 新創会

様

1058

客室	ご到着	ご出発	泊数	ご人数	係名
ふよう	21/08/04	21/08/05	1	3	[REDACTED]

日付	品名	数量	単価	金額
08/04	宿泊料金(B521/1名)	3	12,000	36,000
	合計 (内消費税等)			36,000 3,270

- ご来館ありがとうございました。お気をつけてお帰りください。
- またのお越しを心よりお待ち申し上げます。

ホテルこしきしま親和館

〒8961411 鹿児島県薩摩川内市下宿町長浜1233-3  
TEL:09969-6-2008 FAX:09969-5-0551

振込先金融機関： [REDACTED]

合計	36,000
クーポン	0
ご予約金	0
ご請求額	36,000

調査研究費

2021年08月05日  
一連No038062  
領収No000006

領 収 書  
新創会 様

¥3,551-

(但し) ガソリンとして、正に領収致しました。  
印刷面を内側に折って保管願います

甌島漁業協同組合  
長浜出張所

〒896-1411  
鹿児島県薩摩川内市  
下甌町長浜101-3  
TEL 09969-5-0053



領 収 書

令和3年8月5日

新創会 様

¥10,320-


但 高速船船賃として (SUZUKI X 5人)  
上記正に領収いたしました  
鹿児島県いちき串木野市西薩町12  
九州海運株式会社  
TEL 0996-32-2161

※保管上のお願  
印刷面を内側に折って保管願います。

印 紙

調査研究費

市内旅費領収明細書

整理番号	日付	出張用務	起点～終点	旅費額	領収日	領収印	備考
1	8月4日 8月5日	政務活動における市内旅費	平佐西～川内港	300円	8/5		往復
2	8月4日 8月5日	政務活動における市内旅費	旧湯田～川内港	590円	8/5		往復
3	8月4日 8月5日	政務活動における市内旅費	旧藤川～川内港	1,340円	8/5		往復
4							
5			～	円			
6			～	円			
7			～	円			
8			～	円			
9			～	円			
10			～	円			
11			～	円			
12			～	円			
13			～	円			
14			～	円			
15			～	円			
16			～	円			
17			～	円			
18			～	円			
19			～	円			
20			～	円			
合計				2,230円			

※薩摩川内市職員等旅費の支給に関する条例施行規則に準じて支出

事務費

No. 004929

# 領 収 証

新創会

様

2021年 9月 7日

金 額		百万		千	円
				4019	

但し イマートショップ代 217

上記金額正に領収いたしました

BC-345②

内 訳	現金	0
	小切手	
	手形	
	その他	

収 入  
印 紙

〒895-0076

鹿児島県薩摩川内市大小路町8番15号

株式会社 文友

電話 0996(22)4624

取  
扱  
者

No. 000794

# 領 収 証

新創会

様

2022年 2月 9日

金 額		百万		千	円
				47333	

但し イマート代 217

上記金額正に領収いたしました

BC-341④  
BC-340③  
BC-345⑤  
BC-346②

内 訳	現金	0
	小切手	
	手形	
	その他	

収 入  
印 紙

〒895-0076

鹿児島県薩摩川内市大小路町8番15号

株式会社 文友

電話 0996(22)4624

取  
扱  
者

No. 000883

# 領 収 証

新創会

様

2022年3月18日

金 額			百万		千	7	9	2	0	円
-----	--	--	----	--	---	---	---	---	---	---

但し 同紙代 217

上記金額正に領収いたしました (400円×2紙×1.1)

内 訳	現金	0
	小切手	
	手形	
	その他	


収 入  
印 紙

〒895-0076

鹿児島県薩摩川内市大小路町8番15号

株式会社 文友社

電話 0996(22)4624

取扱者 

No. 000896

# 領 収 証

新創会

様

2022年3月28日

金 額			百万		千	1	4	7	5	1	円
-----	--	--	----	--	---	---	---	---	---	---	---

但し ソフトウェア代 217

上記金額正に領収いたしました (750円×2紙×1.1)

内 訳	現金	0
	小切手	
	手形	
	その他	

収 入  
印 紙

〒895-0076

鹿児島県薩摩川内市大小路町8番15号

株式会社 文友社

電話 0996(22)4624

取扱者 